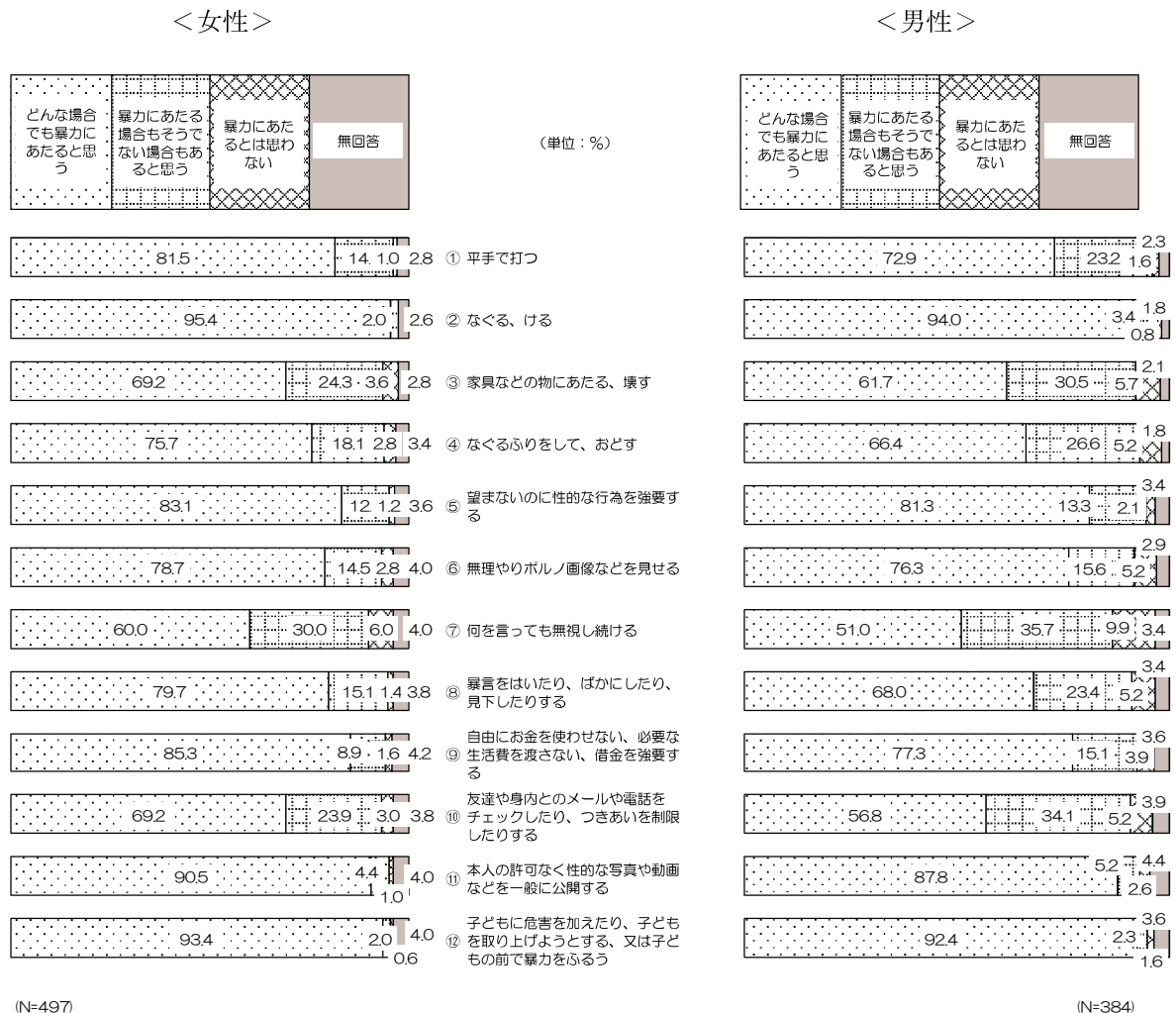


7 ドメスティック・バイオレンスについて

(1) 暴力だと思ふこと

問 2 1. あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思ひますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。(○はひとつずつ)

〔図表 7-1 暴力だと思ふ事柄 (性別)〕



【「なぐる、ける」は「どんな場合でも暴力にあたる」が9割を超える】

暴力だと思ふことについて、「どんな場合でも暴力にあたると思う」をみると、「なぐる、ける」「子どもに危害を加えたり、子どもを取り上げようとする、又は子どもの前で暴力をふるう」は男女とも9割を超えている。

性別で見ると、全ての項目で女性の方が「どんな場合でも暴力にあたると思う」割合は高くなっており、特に「友達や身内とのメールや電話をチェックしたり、つきあいを制限したりする」、「暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする」は男性と比べて10ポイント以上高くなっている。

(図表 7-1)

(2) 配偶者等からの暴力（DV）の相談窓口の認知度

問22. あなたは、配偶者・パートナーからの暴力（なぐる、ける、無視するなど身体的、精神的な暴力等）について、相談できる窓口があることを知っていますか。

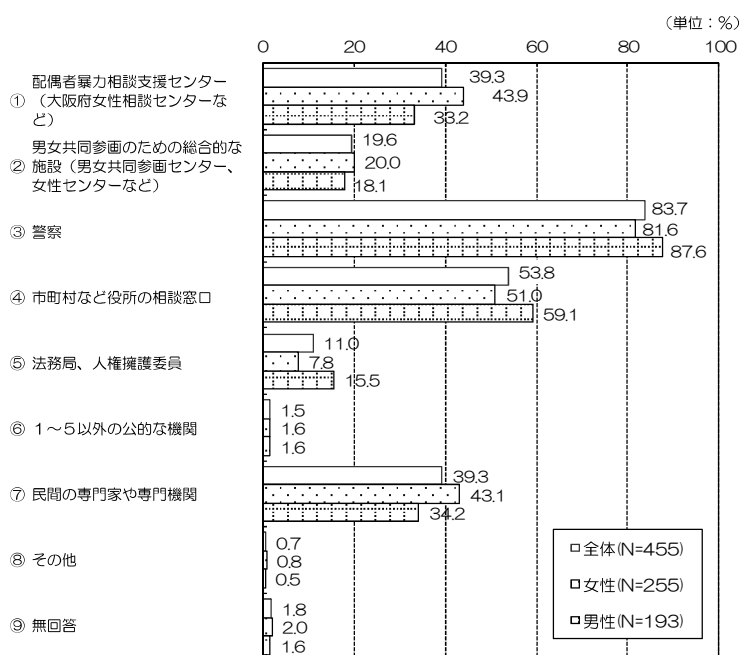
〔図表 7-2 配偶者等からの暴力（DV）の相談窓口認知度（性別）〕

(単位：%)	知っている		知らない		無回答
	割合	人数	割合	人数	
全体 (N=897)	50.7	455	43.7	391	5.6
女性 (N=497)	51.3	255	42.7	212	6
男性 (N=384)	50.3	193	45.1	172	4.7

問22-1. 【相談窓口を「知っている」と回答した方にお聞きします】

あなたは、配偶者・パートナーからの暴力に関する相談窓口としてどのようなものを知っていますか。（〇はいくつでも）

〔図表 7-2-1 配偶者等からの暴力（DV）の相談窓口の認知度（性別）〕



【DVの相談窓口としては「警察」が男女とも8割を超えて認知されている】

配偶者等からの暴力（DV）の相談窓口を「知っている」割合は約半数の50.7%で、性別での差はほとんど見られない。相談窓口では「警察」が83.7%で最もよく認知されている。次いで、「市町村など役所の相談窓口」が53.8%、「配偶者暴力相談支援センター」「民間の専門家や専門機関」が39.3%となっている。（図表 7-2-1）

〔図表 7-2-3 配偶者等からの暴力（DV）の相談窓口の認知度
（性・年代別、性・暴力経験別）〕

（単位：％）

			サンプル数	① （配偶者暴力相談支援センターなど） （大阪府女性相談センターなど）	② （男女共同参画の総合的な施設） （男女共同参画センター、女性センターなど）	③ 警察	④ 市町村など役所の相談窓口	⑤ 法務局、人権擁護委員	⑥ 1～5以外の公的な機関	⑦ 民間の専門家や専門機関	⑧ その他	⑨ 無回答
全 体			455	39.3	19.6	83.7	53.8	11.0	1.5	39.3	0.7	1.8
性×年代別	女性	18～29歳	32	50.0	21.9	81.3	40.6	6.3	3.1	40.6	3.1	3.1
		30歳代	40	40.0	20.0	85.0	62.5	10.0	2.5	35.0	-	-
		40歳代	60	51.7	15.0	85.0	40.0	8.3	-	53.3	1.7	3.3
		50歳代	44	38.6	18.2	79.5	50.0	4.5	2.3	31.8	-	2.3
		60歳以上	79	40.5	24.1	78.5	58.2	8.9	1.3	46.8	-	1.3
	男性	18～29歳	23	39.1	34.8	91.3	52.2	8.7	4.3	26.1	-	4.3
		30歳代	24	33.3	12.5	87.5	54.2	4.2	-	33.3	4.2	-
		40歳代	33	33.3	30.3	93.9	78.8	12.1	-	48.5	-	-
		50歳代	37	27.0	10.8	89.2	48.6	16.2	2.7	40.5	-	2.7
		60歳以上	76	34.2	13.2	82.9	59.2	22.4	1.3	27.6	-	1.3
暴力経験別	女性	受けたことがある	81	44.4	19.8	87.7	51.9	9.9	3.7	44.4	1.2	-
		受けたことがない	174	43.7	20.1	78.7	50.6	6.9	0.6	42.5	0.6	1.1
	男性	受けたことがある	65	30.8	24.6	87.7	58.5	15.4	1.5	32.3	-	-
		受けたことがない	128	34.4	14.8	87.5	59.4	15.6	1.6	35.2	0.8	2.3

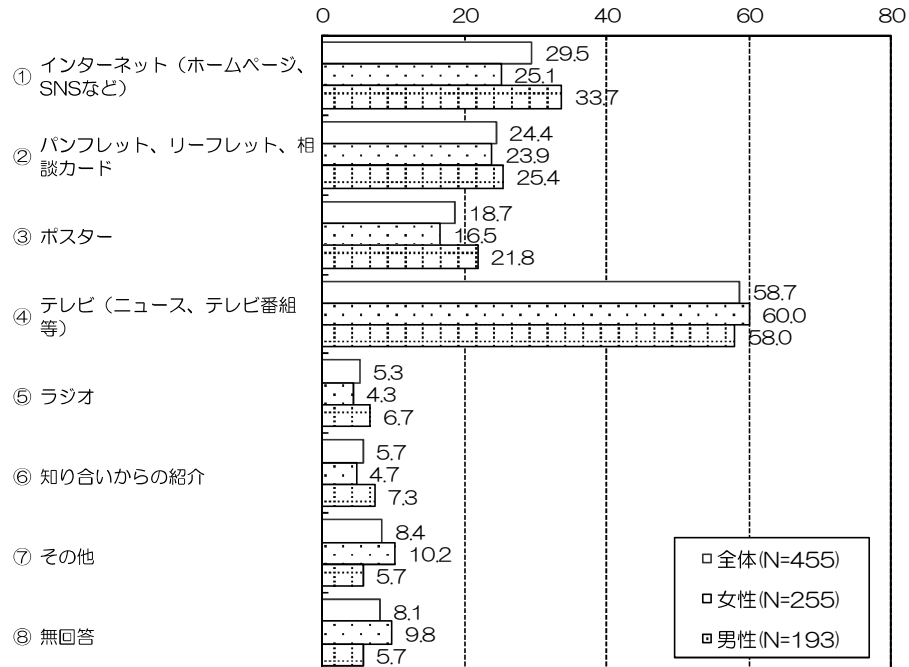
※ は、属性中トップの項目

(3) 配偶者等からの暴力(DV)の相談窓口の認知手段

問2-2-2. 相談窓口をどのような手段で知りましたか。(〇はいくつでも)

〔図表 7-3 配偶者等からの暴力(DV)の相談窓口の認知手段(性別)〕

(単位: %)



【相談窓口の認知手段は「テレビ」が5割強】

相談窓口の認知手段は、「テレビ(ニュース、テレビ番組等)」が58.7%で特に高い。次いで、「インターネット(ホームページ、SNSなど)」が29.5%、「パンフレット、リーフレット、相談カード」が24.4%である。(図表 7-3)

〔図表 7-3-1 配偶者等からの暴力(DV)の相談窓口の認知手段(性・年代別)〕

(単位: %)

		サンプル数	① インターネット(SNSなど)	② パンフレット、リーフレット、相談カード	③ ポスター	④ テレビ(ニュース、テレビ番組等)	⑤ ラジオ	⑥ 知り合いからの紹介	⑦ その他	⑧ 無回答	
全体		455	29.5	24.4	18.7	58.7	5.3	5.7	8.4	8.1	
性×年代別	女性	18~29歳	32	43.8	18.8	21.9	31.3	-	-	18.8	18.8
		30歳代	40	27.5	20.0	20.0	55.0	-	5.0	12.5	12.5
		40歳代	60	28.3	23.3	11.7	63.3	1.7	10.0	8.3	1.7
		50歳代	44	27.3	27.3	15.9	61.4	11.4	4.5	2.3	11.4
		60歳以上	79	12.7	26.6	16.5	70.9	6.3	2.5	11.4	10.1
	男性	18~29歳	23	47.8	34.8	26.1	47.8	-	13.0	13.0	4.3
		30歳代	24	45.8	25.0	16.7	41.7	-	4.2	-	12.5
		40歳代	33	45.5	24.2	27.3	51.5	12.1	9.1	6.1	3.0
		50歳代	37	35.1	24.3	18.9	59.5	8.1	5.4	5.4	8.1
		60歳以上	76	19.7	23.7	21.1	68.4	7.9	6.6	5.3	3.9

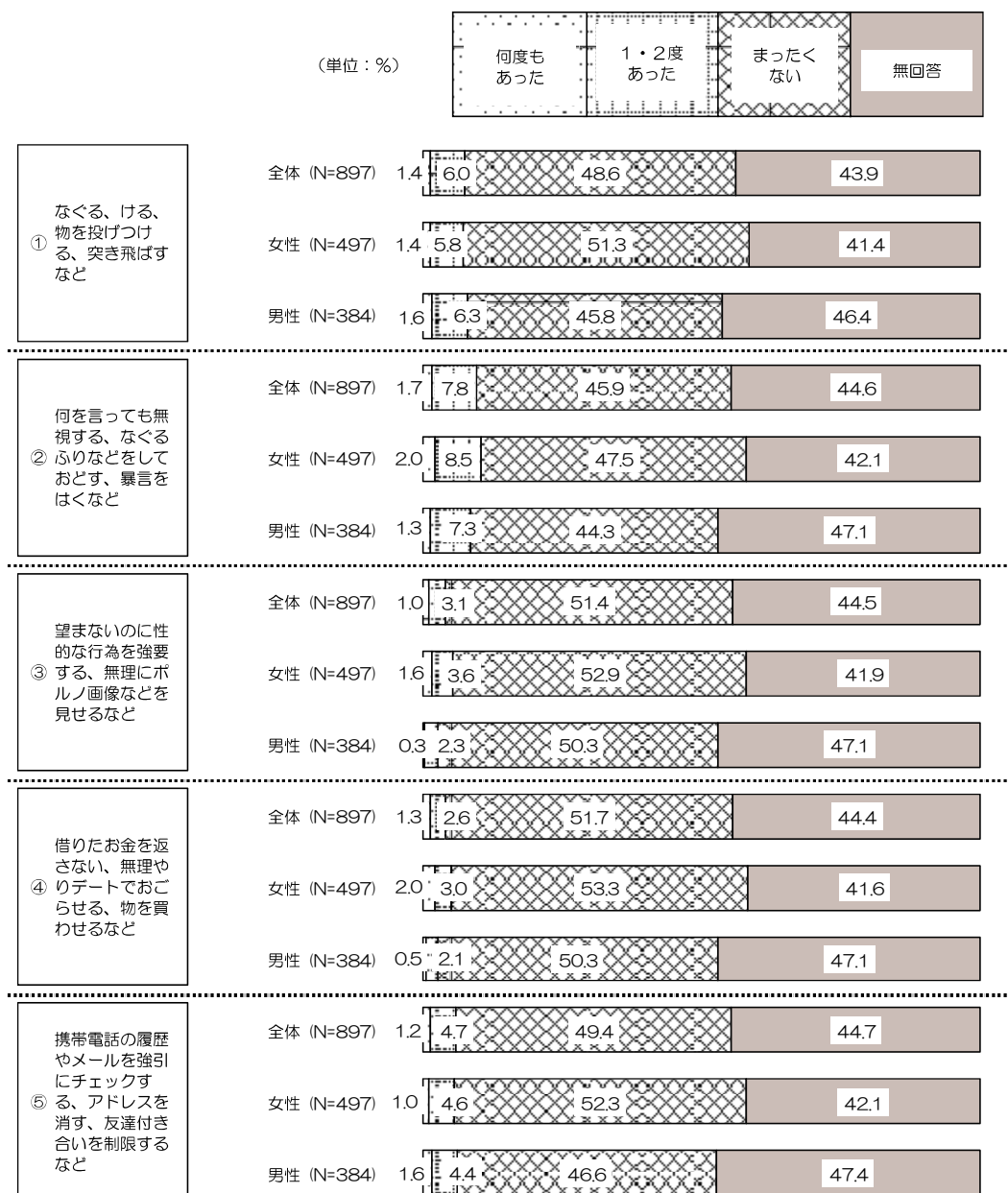
※ 濃い色は、属性中トップの項目

(4) 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験

問23. 10代、20代に、交際相手があなたに対して、次のようなことをしたことがありますか。

(○はひとつずつ)

〔図表7-4 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性別）〕

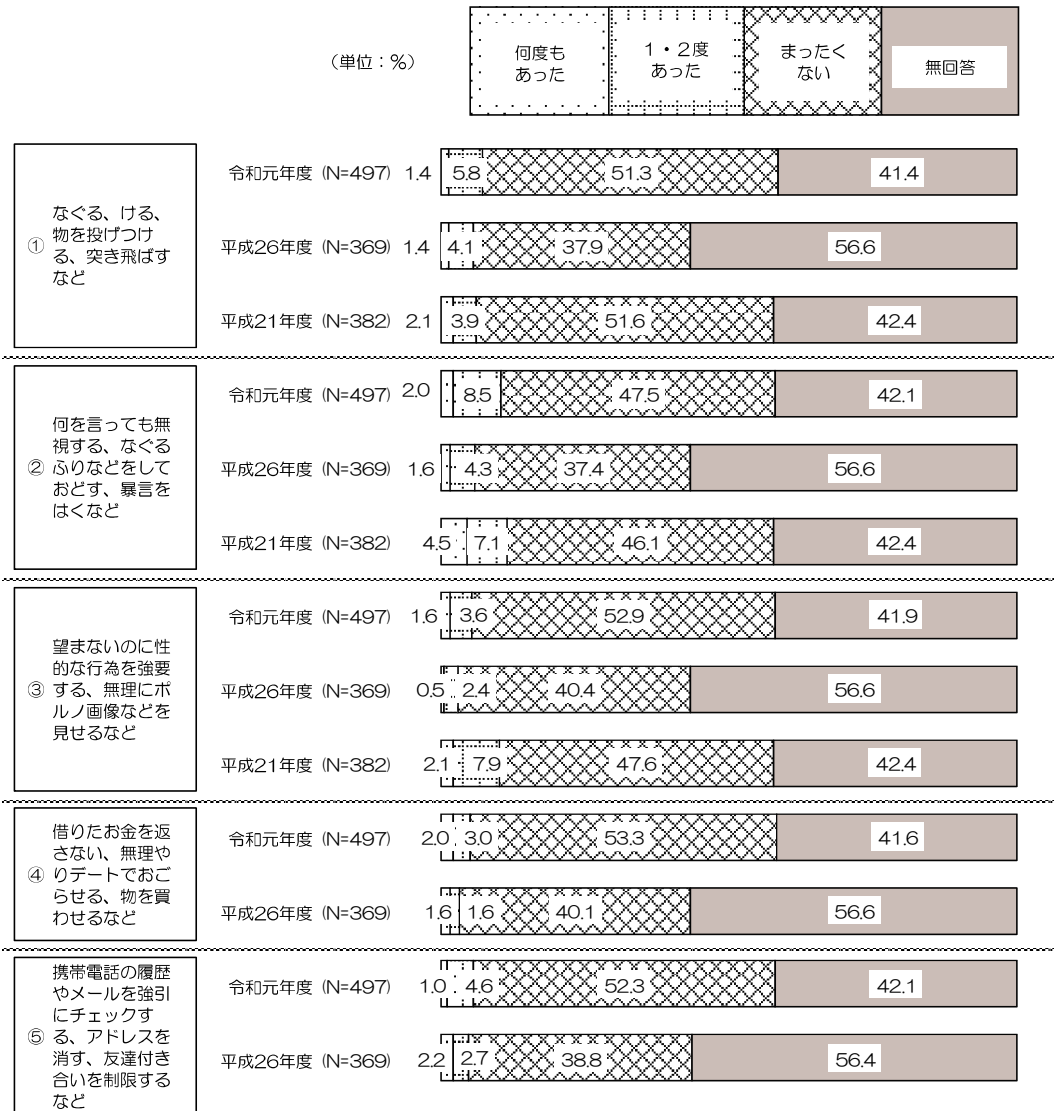


【デートDVを受けた経験はほとんどの項目で女性の方が高い】

交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験について「何どもあった」でみると、「何を言っても無視する、なくるふりなどをしておどす、暴言をはくなど」が1.7%、次いで「なくる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど」が1.4%となっている。『あった』（「何どもあった」と「1・2度あった」を合わせた割合）でみると、「何を言っても無視する、なくるふりなどをしておどす、暴言をはくなど」が9.5%で最も高い。（図表7-4）

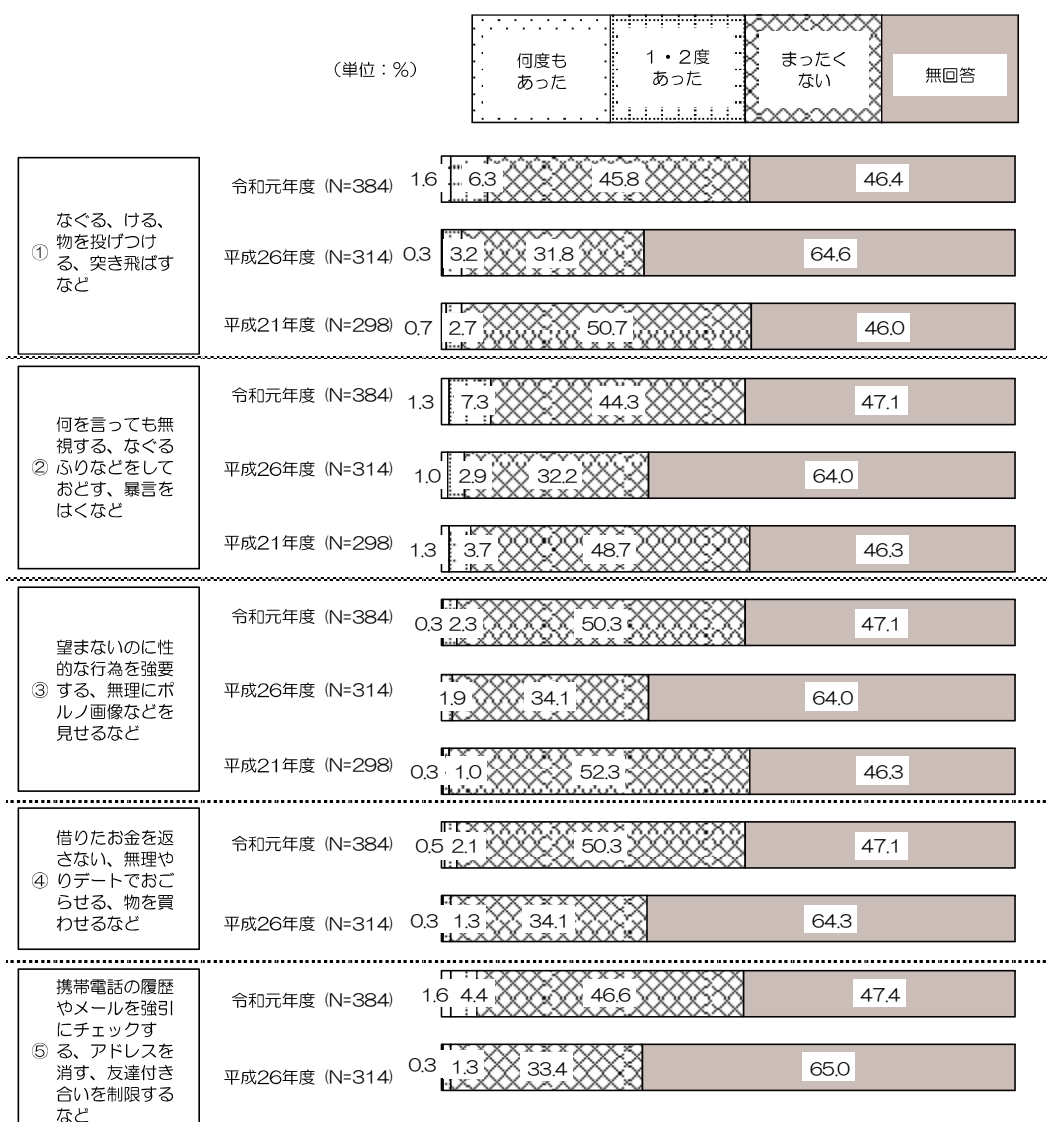
〔図表7-4-1 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（過去の調査との比較）〕

<女性>



※平成21年度調査では、④「借りたお金を返さない、無理やりデートでおごらせる、物を買わせるなど」、⑤「携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達付き合いを制限するなど」は項目なし。

<男性>



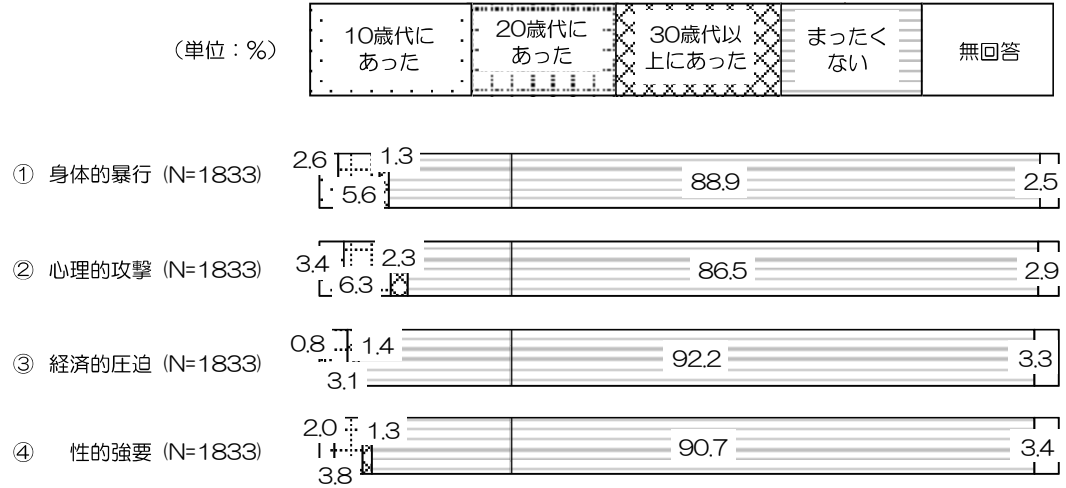
※平成21年度調査では、④「借りたお金を返さない、無理やりデートでおごらせる、物を買わせるなど」、⑤「携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達付き合いを制限するなど」は項目なし。

【過去の調査との比較】

平成26年度と比較すると、男女ともに『あった』は全ての項目で増加している。(図表7-4-1)

〔図表 7-4-2 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（内閣府調査との比較）〕

<内閣府（平成 29 年度）調査結果>



【内閣府調査との比較】

内閣府（平成 29 年度）調査では、『あった』（「10 歳代にあった」と「20 歳代にあった」と「30 歳代以上にあった」を合わせた割合）は、「身体的暴行」で 9.5%、「心理的攻撃」が 12.0%、「経済的圧迫」が 5.3%、「性的強要」が 7.1%となっている。今回調査の「なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど」では『あった』は 7.4%で、内閣府調査の「身体的暴行」を受けた割合よりも低くなっている。（図表 7-4-2）

①なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど

〔図表 7-4-3 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性・年代別）〕

（単位：％）

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	1.4	6.0	48.6	43.9
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	4.8	4.8	72.6	17.7
		30歳代	78	1.3	16.7	55.1	26.9
		40歳代	105	-	3.8	61.0	35.2
		50歳代	87	1.1	3.4	56.3	39.1
		60歳以上	165	1.2	3.6	32.7	62.4
	男 性	18～29歳	48	4.2	8.3	62.5	25.0
		30歳代	49	4.1	8.2	46.9	40.8
		40歳代	74	1.4	9.5	62.2	27.0
		50歳代	62	1.6	9.7	48.4	40.3
		60歳以上	151	-	2.0	31.1	66.9

※ は、属性中トップの項目

②何を言っても無視する、なぐるふりなどをしておどす、暴言をはくなど

〔図表 7-4-4 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性・年代別）〕

（単位：％）

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	1.7	7.8	45.9	44.6
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	6.5	6.5	69.4	17.7
		30歳代	78	3.8	19.2	48.7	28.2
		40歳代	105	1.0	8.6	55.2	35.2
		50歳代	87	-	9.2	51.7	39.1
		60歳以上	165	1.2	3.6	31.5	63.6
	男 性	18～29歳	48	4.2	10.4	60.4	25.0
		30歳代	49	4.1	10.2	44.9	40.8
		40歳代	74	-	10.8	60.8	28.4
		50歳代	62	1.6	8.1	50.0	40.3
		60歳以上	151	-	3.3	28.5	68.2

※ は、属性中トップの項目

③望まないのに性的な行為を強要する、無理にポルノ画像などを見せるなど
 〔図表 7-4-5 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	1.0	3.1	51.4	44.5
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	3.2	3.2	75.8	17.7
		30歳代	78	2.6	9.0	61.5	26.9
		40歳代	105	1.0	4.8	59.0	35.2
		50歳代	87	-	2.3	58.6	39.1
		60歳以上	165	1.8	1.2	33.3	63.6
	男 性	18～29歳	48	-	4.2	70.8	25.0
		30歳代	49	-	4.1	55.1	40.8
		40歳代	74	-	2.7	68.9	28.4
		50歳代	62	1.6	3.2	54.8	40.3
		60歳以上	151	-	0.7	31.1	68.2

※ は、属性中トップの項目

④借りたお金を返さない、無理やりデートでおごらせる、物を買わせるなど
 〔図表 7-4-6 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	1.3	2.6	51.7	44.4
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	3.2	1.6	77.4	17.7
		30歳代	78	2.6	7.7	62.8	26.9
		40歳代	105	-	3.8	61.9	34.3
		50歳代	87	2.3	2.3	56.3	39.1
		60歳以上	165	2.4	1.2	32.7	63.6
	男 性	18～29歳	48	-	2.1	72.9	25.0
		30歳代	49	-	4.1	55.1	40.8
		40歳代	74	-	4.1	67.6	28.4
		50歳代	62	3.2	-	56.5	40.3
		60歳以上	151	-	1.3	30.5	68.2

※ は、属性中トップの項目

⑤携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達付き合いを制限するなど
 〔図表 7-4-7 交際相手からの暴力（デートDV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

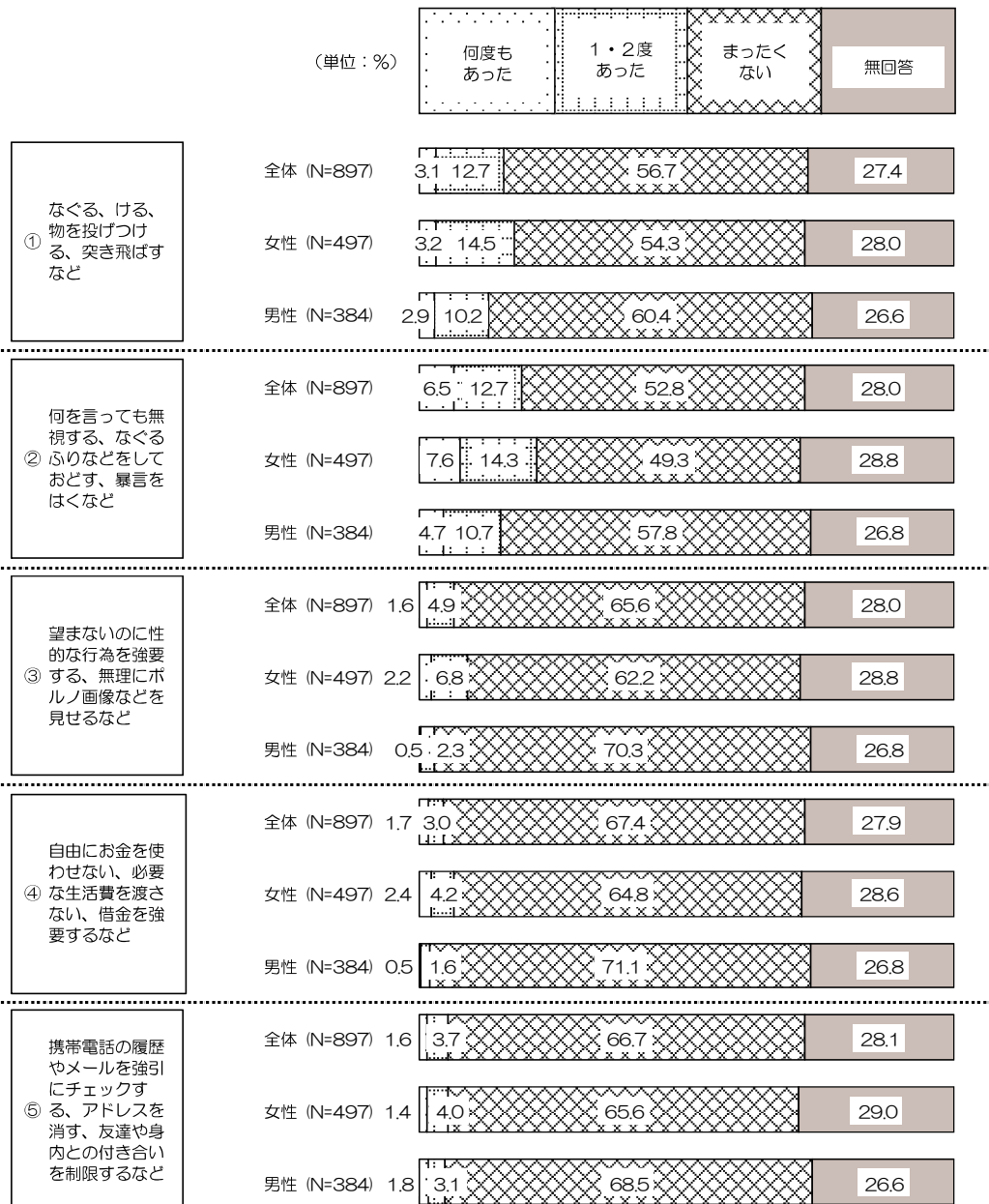
		サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答	
全 体		897	1.2	4.7	49.4	44.7	
性 × 年 代 別	女性	18～29歳	62	1.6	9.7	71.0	17.7
		30歳代	78	1.3	7.7	64.1	26.9
		40歳代	105	1.0	5.7	58.1	35.2
		50歳代	87	-	2.3	58.6	39.1
		60歳以上	165	1.2	1.8	32.7	64.2
	男性	18～29歳	48	4.2	10.4	60.4	25.0
		30歳代	49	4.1	8.2	46.9	40.8
		40歳代	74	1.4	4.1	64.9	29.7
		50歳代	62	1.6	4.8	53.2	40.3
		60歳以上	151	-	1.3	30.5	68.2

※ は、属性中トップの項目

(5) 配偶者等からの暴力(DV)を受けた経験

問24. これまでに配偶者・パートナーが、あなたに対して次のようなことをしたことがありますか。(○はひとつずつ)

〔図表7-5 配偶者等からの暴力(DV)を受けた経験(性別)〕

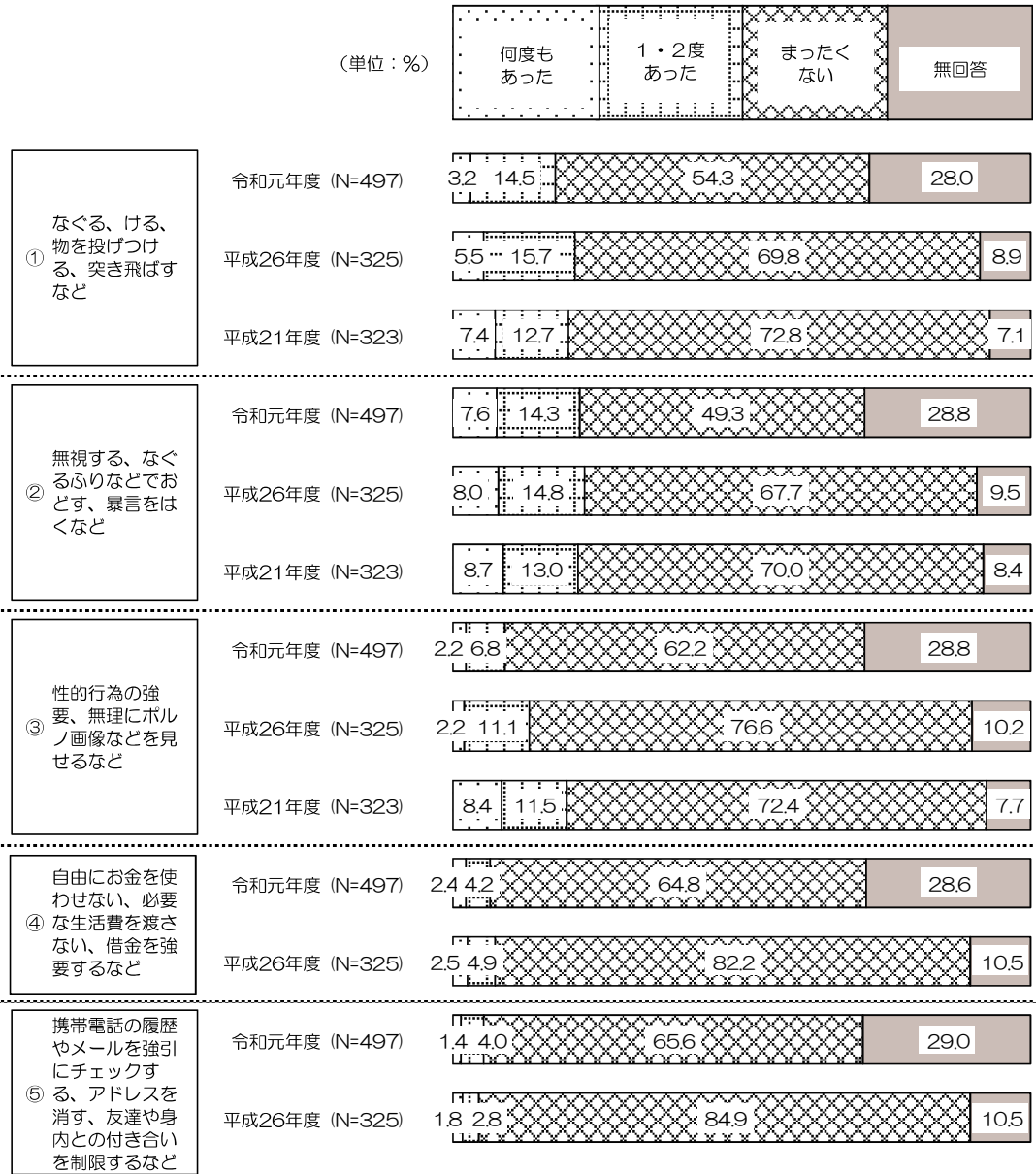


【DVの経験では精神的暴力を受けたことがある割合が高い】

配偶者等からの暴力(DV)を受けた経験を「何度もあった」でみると、「何を言っても無視する、なくるふりなどをしておどす、暴言をはくなど」が6.5%、次いで「なくる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど」が3.1%となっている。『あった』(「何度もあった」と「1・2度あった」を合わせた割合)でみると、「何を言っても無視する、なくるふりなどをしておどす、暴言をはくなど」が19.2%で最も多い。(図表7-5)

〔図表 7-5-1 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（過去の調査との比較）〕

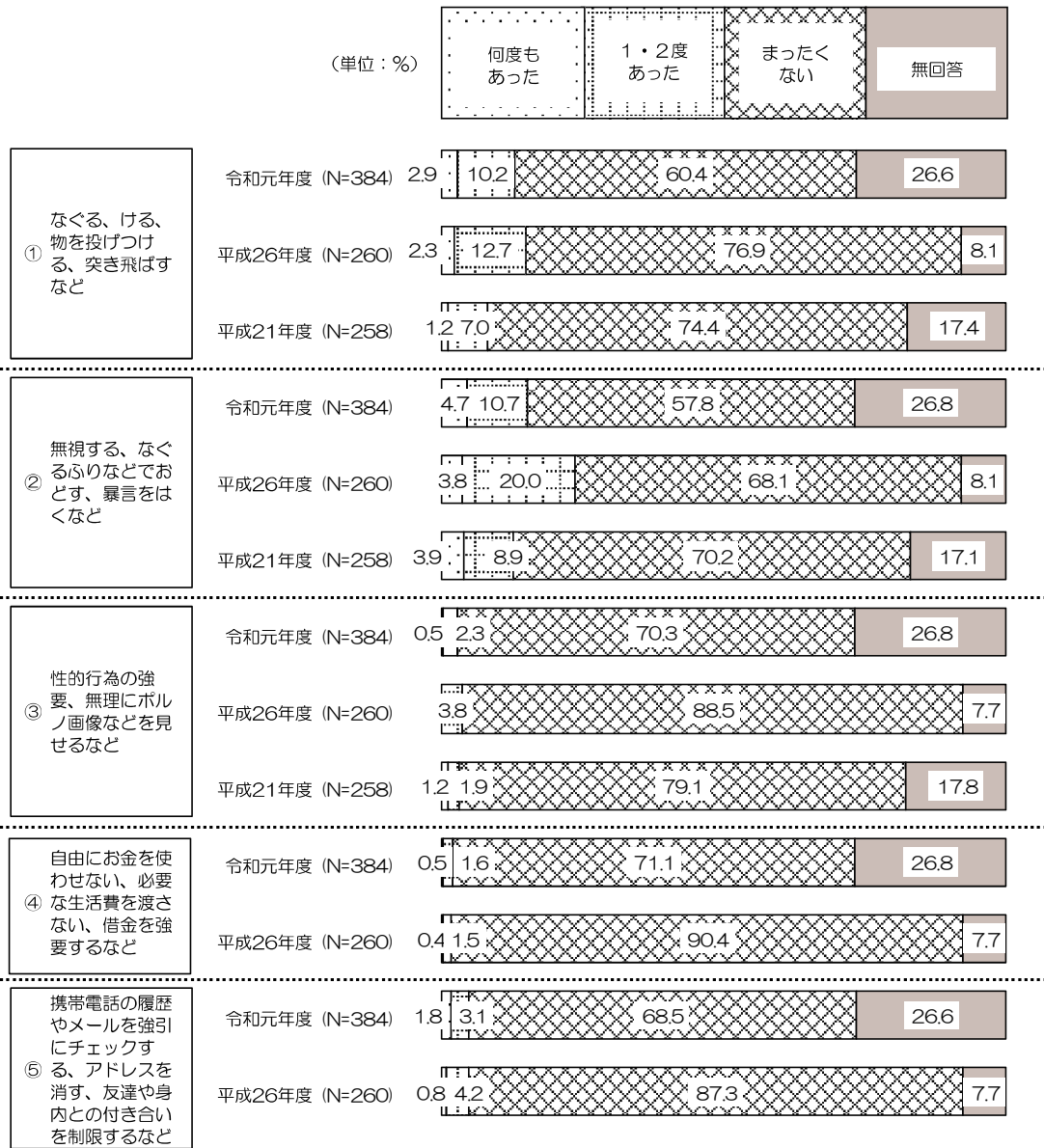
<女性>



※平成21年度調査では、④「自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要するなど」

⑤「携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達や身内との付き合いを制限するなど」は項目なし

<男性>



※平成21年度調査では、④「自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要するなど」

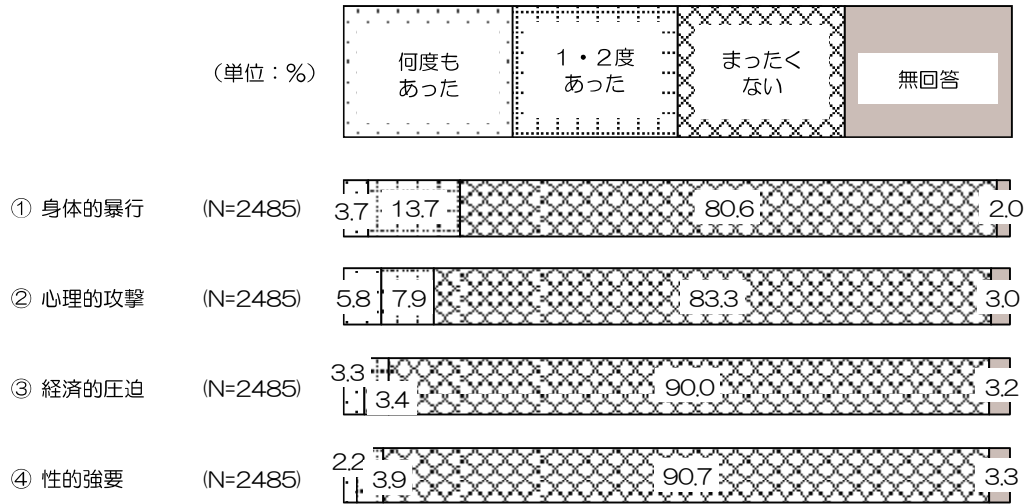
⑤「携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達や身内との付き合いを制限するなど」は項目なし

【過去の調査との比較】

平成26年度と比較すると、女性で『あった』は「性的行為の強要、無理にポルノ画像などを見せるなど」で4.3ポイント減少している。男性では『あった』は、「無視する、なくるふりなどでおどす、暴言をはくなど」で8.4ポイント減少している。(図表7-5-1)

〔図表 7-5-2 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（内閣府調査との比較）〕

<内閣府（平成 29 年度）調査結果>



【内閣府調査との比較】

内閣府（平成 29 年度）調査によると、配偶者等からの暴力被害経験が、『あった』は、「身体的暴行」17.4%、「心理的攻撃」13.7%、「経済的圧迫」6.7%、「性的強要」6.1%となっている。

今回調査の「なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど」では『あった』は15.8%で、内閣府調査の「身体的暴行」よりも1.6ポイント低くなっている。(図表 7-5-2)

①なぐる、ける、物を投げつける、突き飛ばすなど

〔図表 7-5-3 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	3.1	12.7	56.7	27.4
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	-	1.6	25.8	72.6
		30歳代	78	1.3	12.8	52.6	33.3
		40歳代	105	3.8	18.1	53.3	24.8
		50歳代	87	3.4	12.6	64.4	19.5
		60歳以上	165	4.8	18.8	61.2	15.2
	男 性	18～29歳	48	2.1	-	25.0	72.9
		30歳代	49	8.2	6.1	51.0	34.7
		40歳代	74	4.1	10.8	62.2	23.0
		50歳代	62	3.2	16.1	67.7	12.9
		60歳以上	151	0.7	11.9	70.9	16.6

※ は、属性中トップの項目

②何を言っても無視する、なぐるふりなどをしておどす、暴言をはくなど

〔図表 7-5-4 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	6.5	12.7	52.8	28.0
性 × 年 代 別	女 性	18～29歳	62	1.6	-	24.2	74.2
		30歳代	78	9.0	11.5	46.2	33.3
		40歳代	105	10.5	12.4	52.4	24.8
		50歳代	87	5.7	21.8	52.9	19.5
		60歳以上	165	8.5	18.2	56.4	17.0
	男 性	18～29歳	48	-	6.3	20.8	72.9
		30歳代	49	8.2	6.1	51.0	34.7
		40歳代	74	5.4	13.5	58.1	23.0
		50歳代	62	4.8	14.5	67.7	12.9
		60歳以上	151	4.6	10.6	67.5	17.2

※ は、属性中トップの項目

③望まないのに性的な行為を強要する、無理にポルノ画像などを見せるなど
 〔図表 7-5-5 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

		サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答	
全 体		897	1.6	4.9	65.6	28.0	
性 × 年 代 別	女性	18～29歳	62	-	-	25.8	74.2
		30歳代	78	1.3	3.8	61.5	33.3
		40歳代	105	1.9	8.6	63.8	25.7
		50歳代	87	1.1	10.3	69.0	19.5
		60歳以上	165	4.2	7.9	71.5	16.4
	男性	18～29歳	48	-	-	27.1	72.9
		30歳代	49	-	6.1	59.2	34.7
		40歳代	74	-	2.7	74.3	23.0
		50歳代	62	1.6	3.2	82.3	12.9
		60歳以上	151	0.7	1.3	80.8	17.2

※ は、属性中トップの項目

④自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要するなど
 〔図表 7-5-6 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（性・年代別）〕

(単位：%)

		サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答	
全 体		897	1.7	3.0	67.4	27.9	
性 × 年 代 別	女性	18～29歳	62	-	-	25.8	74.2
		30歳代	78	1.3	6.4	59.0	33.3
		40歳代	105	1.9	2.9	70.5	24.8
		50歳代	87	3.4	4.6	72.4	19.5
		60歳以上	165	3.6	5.5	74.5	16.4
	男性	18～29歳	48	-	-	27.1	72.9
		30歳代	49	-	4.1	61.2	34.7
		40歳代	74	-	1.4	75.7	23.0
		50歳代	62	1.6	1.6	83.9	12.9
		60歳以上	151	0.7	1.3	80.8	17.2

※ は、属性中トップの項目

⑤携帯電話の履歴やメールを強引にチェックする、アドレスを消す、友達や身内との付き合いを制限するなど

〔図表 7-5-7 配偶者等からの暴力（DV）を受けた経験（性・年代別）〕

（単位：％）

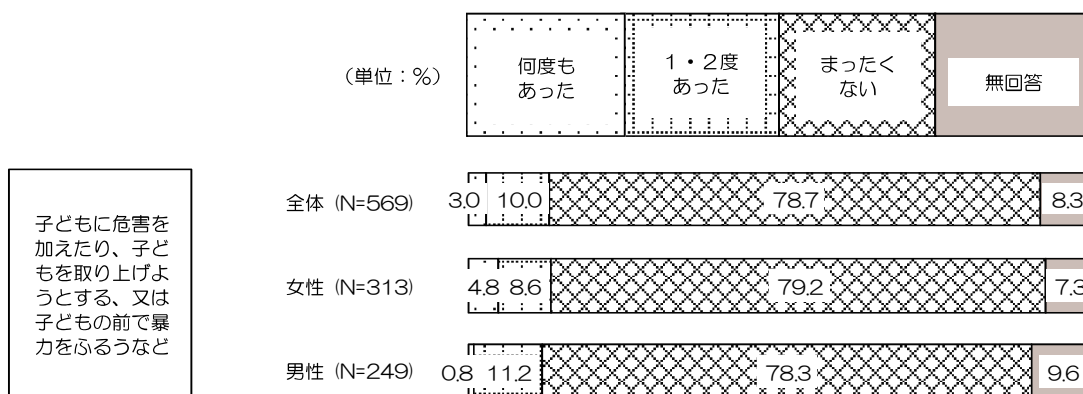
			サンプル数	① 何 度 も あ っ た	② 1 ・ 2 度 あ っ た	③ ま っ た く な い	④ 無 回 答
全 体			897	1.6	3.7	66.7	28.1
性 × 年 代 別	女性	18～29歳	62	-	-	25.8	74.2
		30歳代	78	3.8	6.4	56.4	33.3
		40歳代	105	1.0	3.8	70.5	24.8
		50歳代	87	1.1	3.4	75.9	19.5
		60歳以上	165	1.2	4.8	76.4	17.6
	男性	18～29歳	48	-	2.1	25.0	72.9
		30歳代	49	2.0	2.0	61.2	34.7
		40歳代	74	2.7	5.4	70.3	21.6
		50歳代	62	4.8	4.8	77.4	12.9
		60歳以上	151	0.7	2.0	80.1	17.2

※ は、属性中トップの項目

(6) 配偶者等から子どもを巻き込む・利用した暴力(DV)を受けた経験

問24-1. 子どもがいる方に対して、これまでに配偶者・パートナーが、あなたに対して次のようなことをしたことがありますか(〇は1つ)

〔図表7-5-8 配偶者等から子どもを巻き込む・利用した暴力(DV)を受けた経験(性別)〕



【配偶者等から子どもを巻き込む・利用した暴力(DV)を受けた経験は13%】

配偶者等から子どもを巻き込む・利用した暴力を受けた経験は、「何度もあった」が3.0%、「1・2度あった」が10.0%となっており、性別で見ると女性のほうが「何度もあった」が4.8%と男性より4.0ポイント高い。

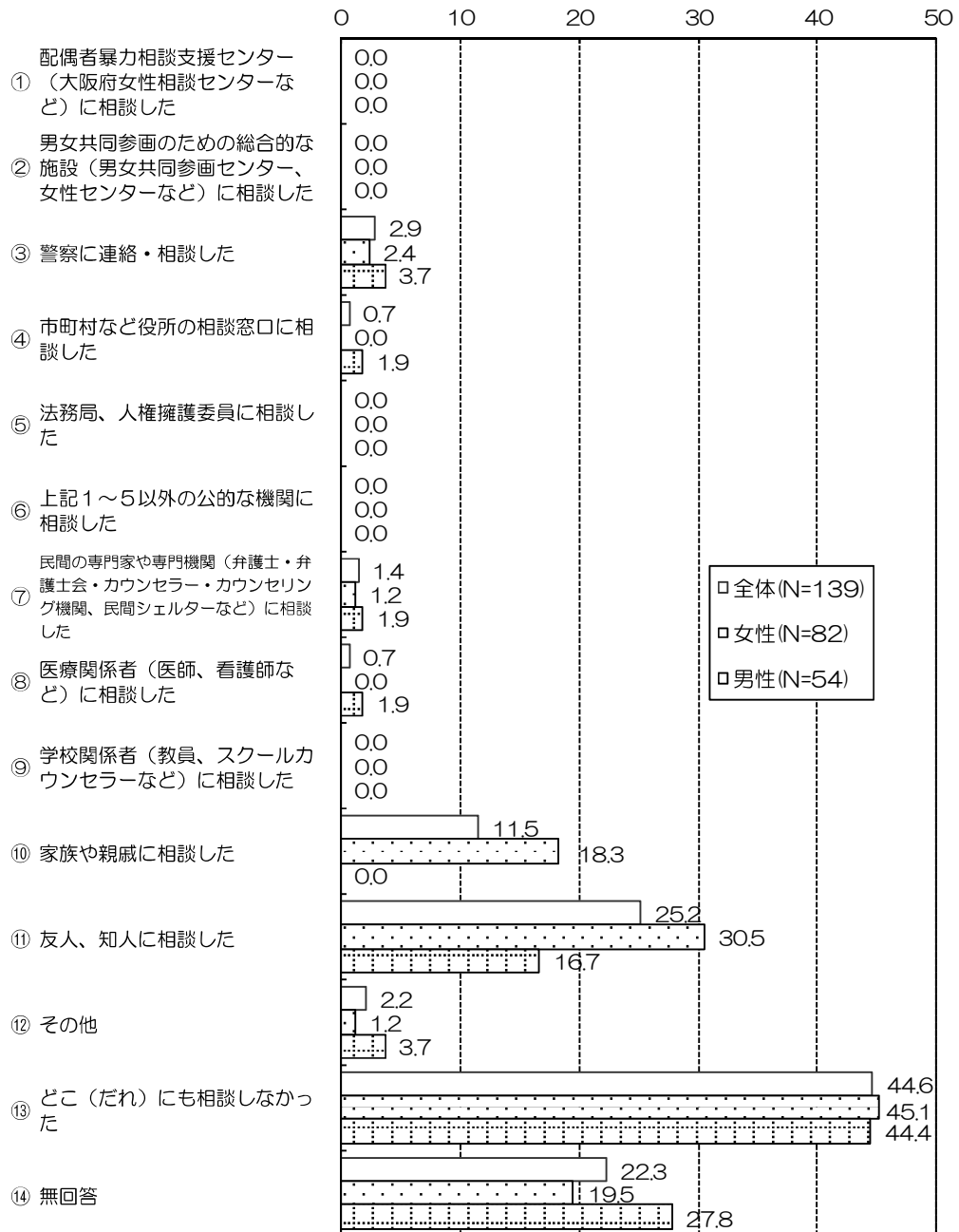
(7) ドメスティック・バイオレンス (DV) の被害の相談先

問25. あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

〔図表 7-6 ドメスティック・バイオレンス (DV) の相談先 (性別)〕

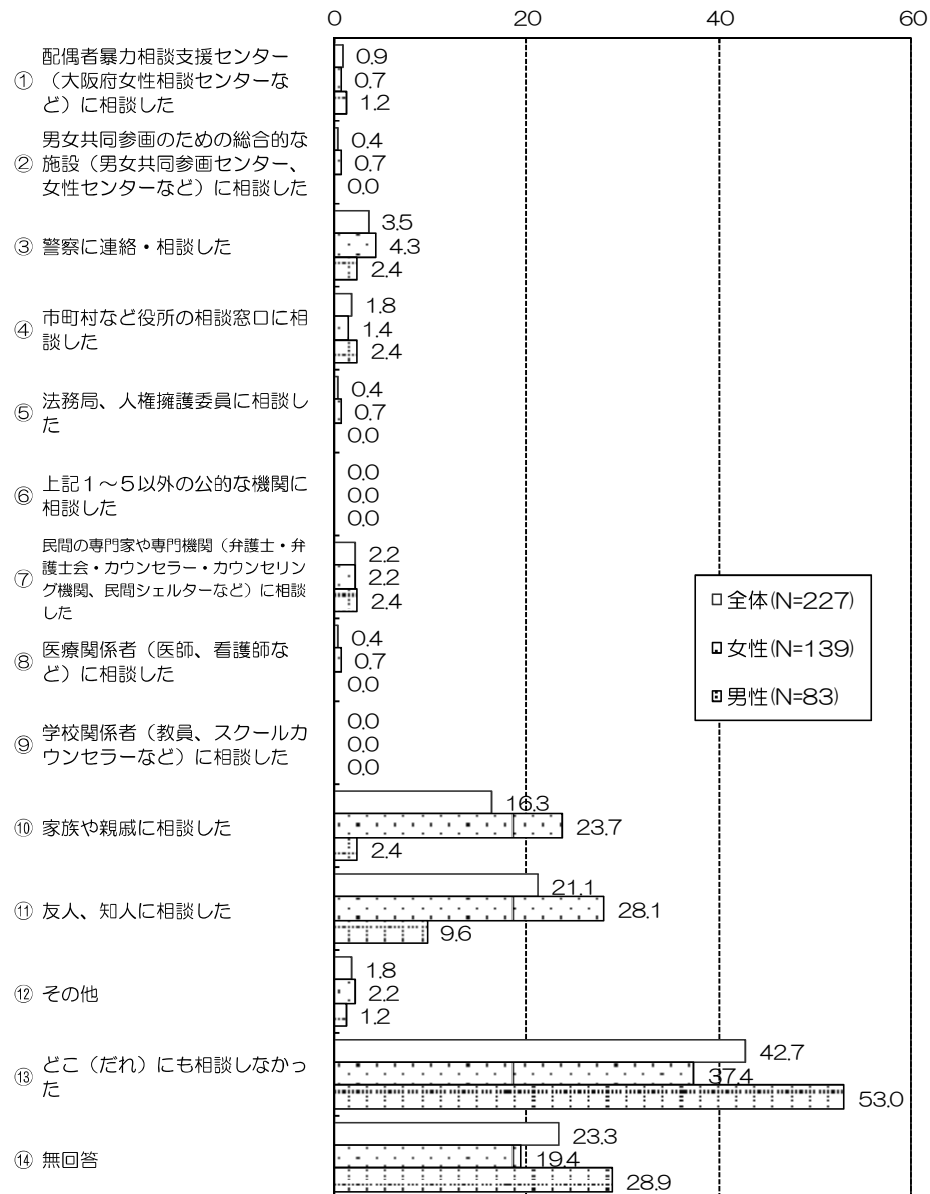
< 交際相手からの暴力 (デートDV) >

(単位: %)



<配偶者等からの暴力（DV）>

（単位：％）



【デートDV、DVともに4割強が「どこ（だれ）にも相談しなかった」】

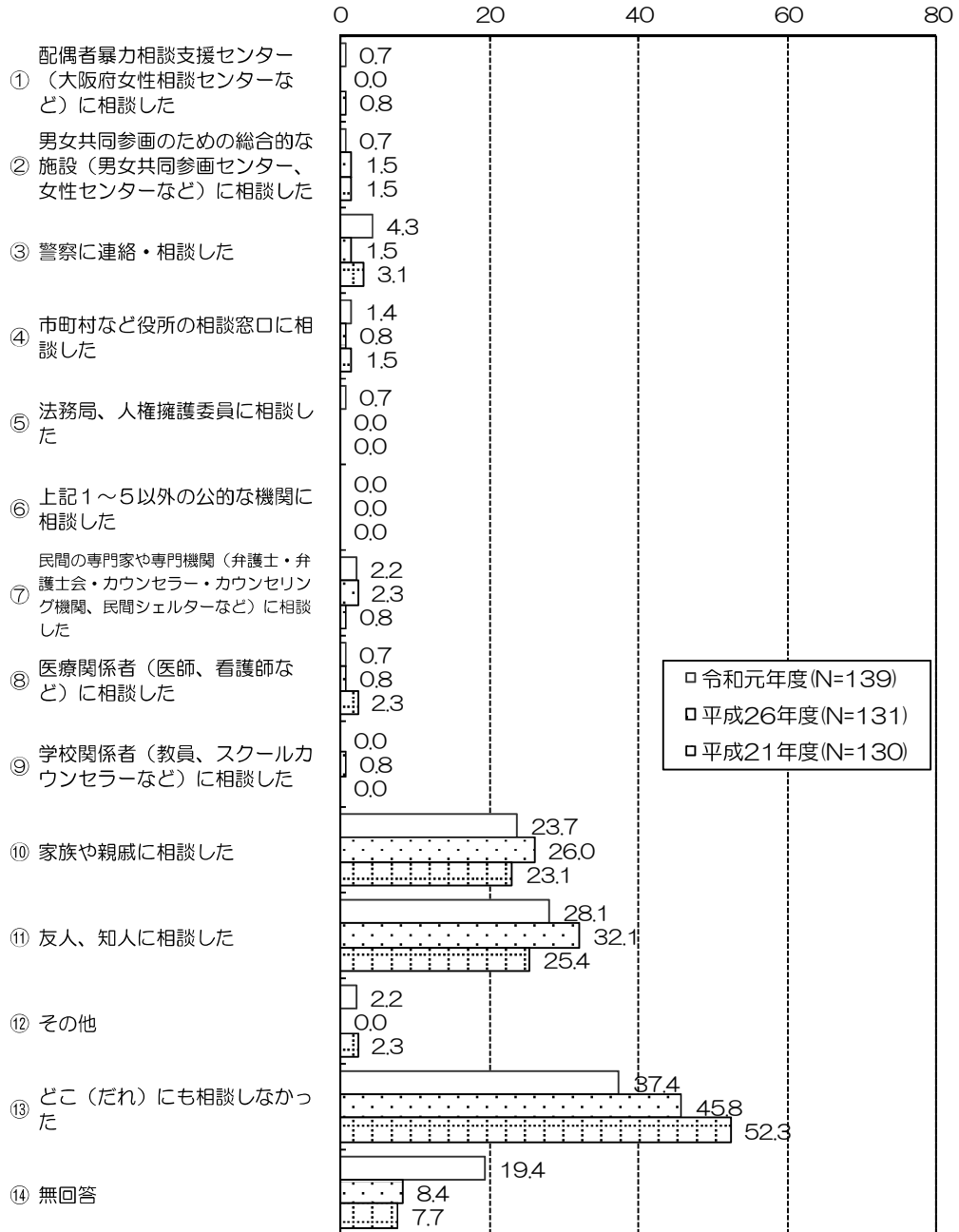
被害の相談先をみると、デートDV、DVとも4割強が「どこ（だれ）にも相談しなかった」としており、DV被害の場合、特に男性の割合が高くなっている。相談先は、デートDV被害の場合は「友人、知人」（25.2％）が最も高く、次いで、「家族や親戚」（11.5％）で、相談機関への相談割合は低い。

DV被害の場合も、主な相談先は「友人、知人」（21.1％）、「家族や親戚」（16.3％）となっている。相談機関では「警察」が3.5％となっている。（図表7-6）

〔図表 7-6-1 ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害の相談先（過去の調査との比較）〕

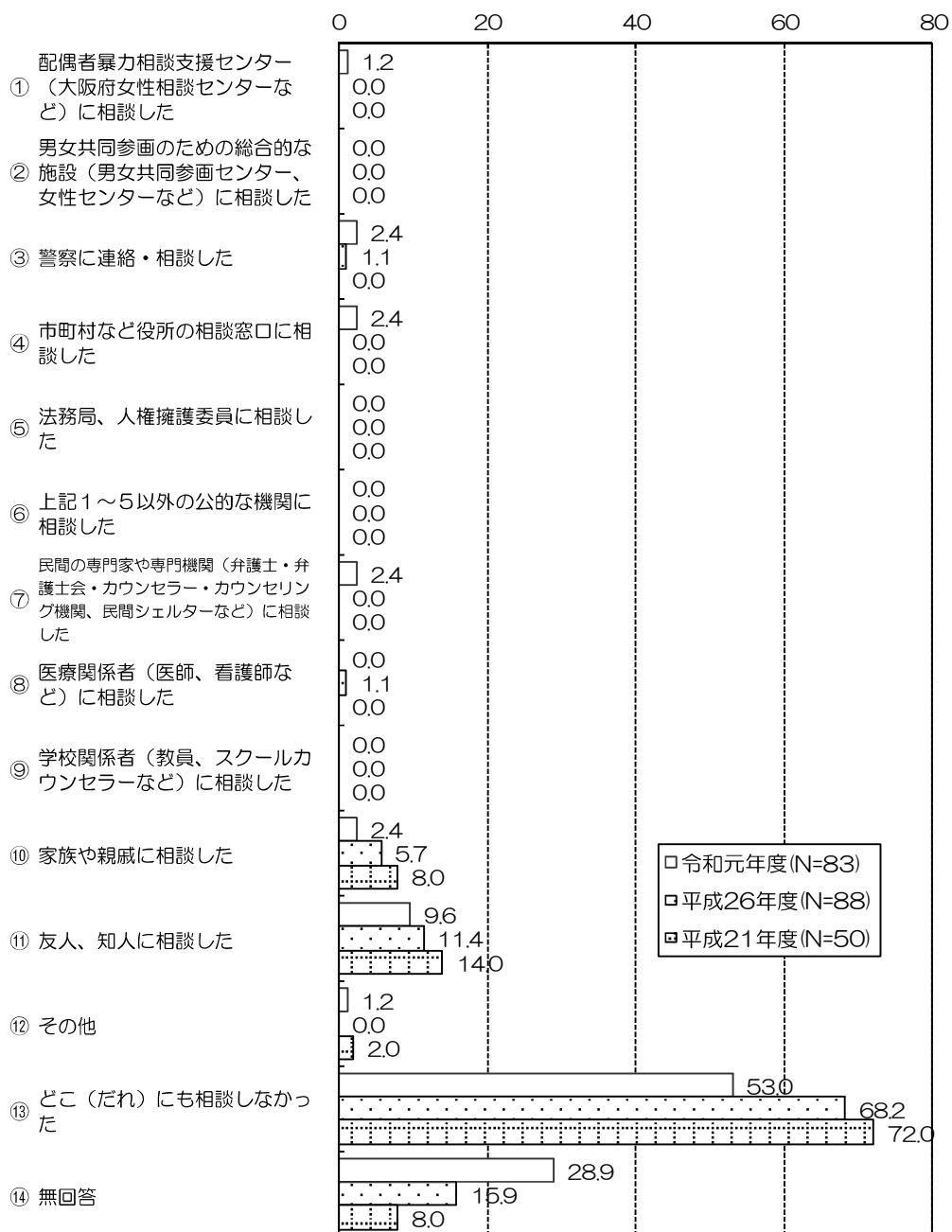
<女性>

(単位：%)



<男性>

(単位：%)



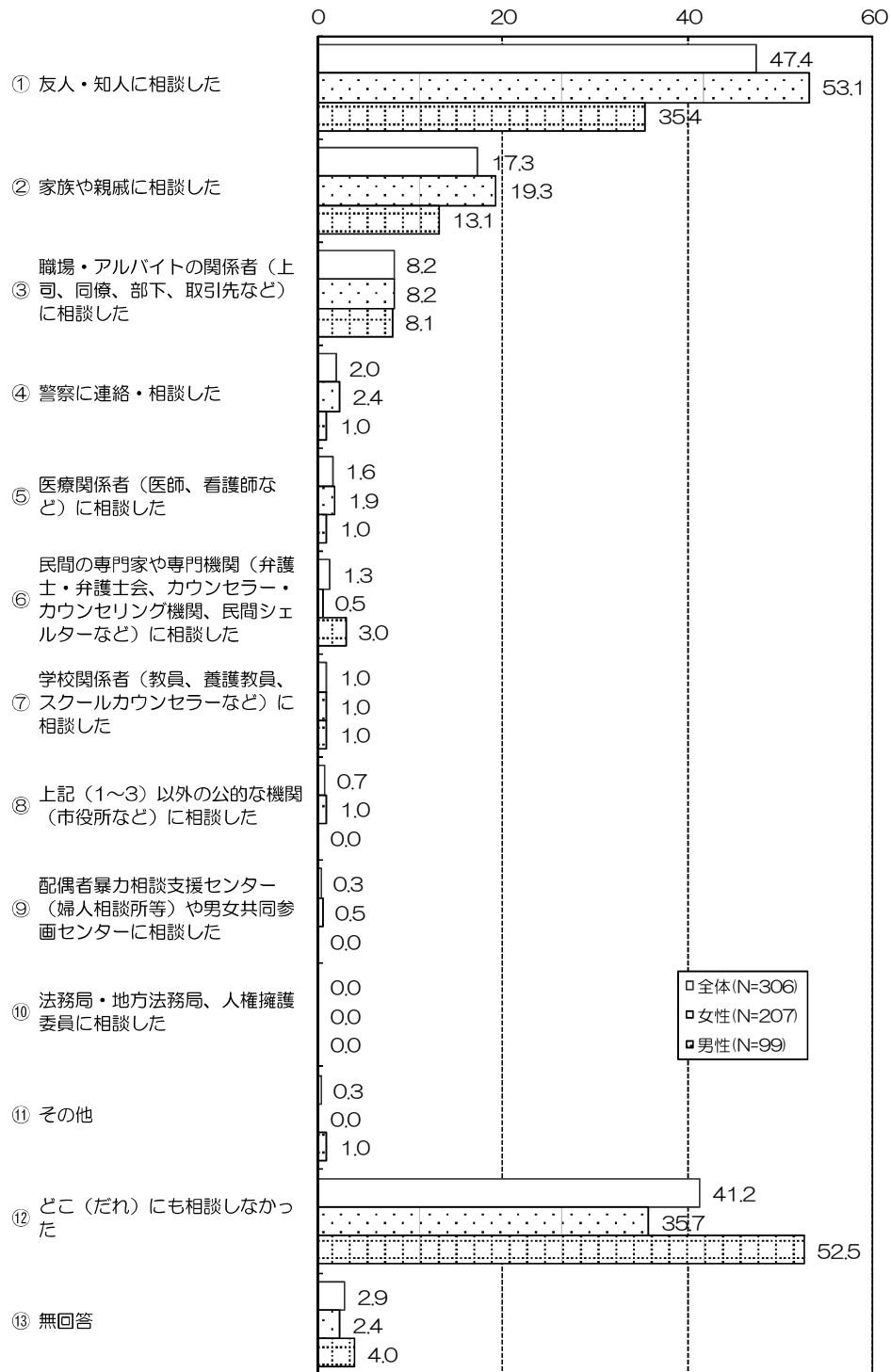
【過去の調査との比較】

平成26年度及び平成21年度と比較して、男女とも「どこ（だれ）にも相談しなかった」割合が減少している。（図表7-6-1）

〔図表 7-6-2 ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害の相談先（内閣府調査との比較）〕

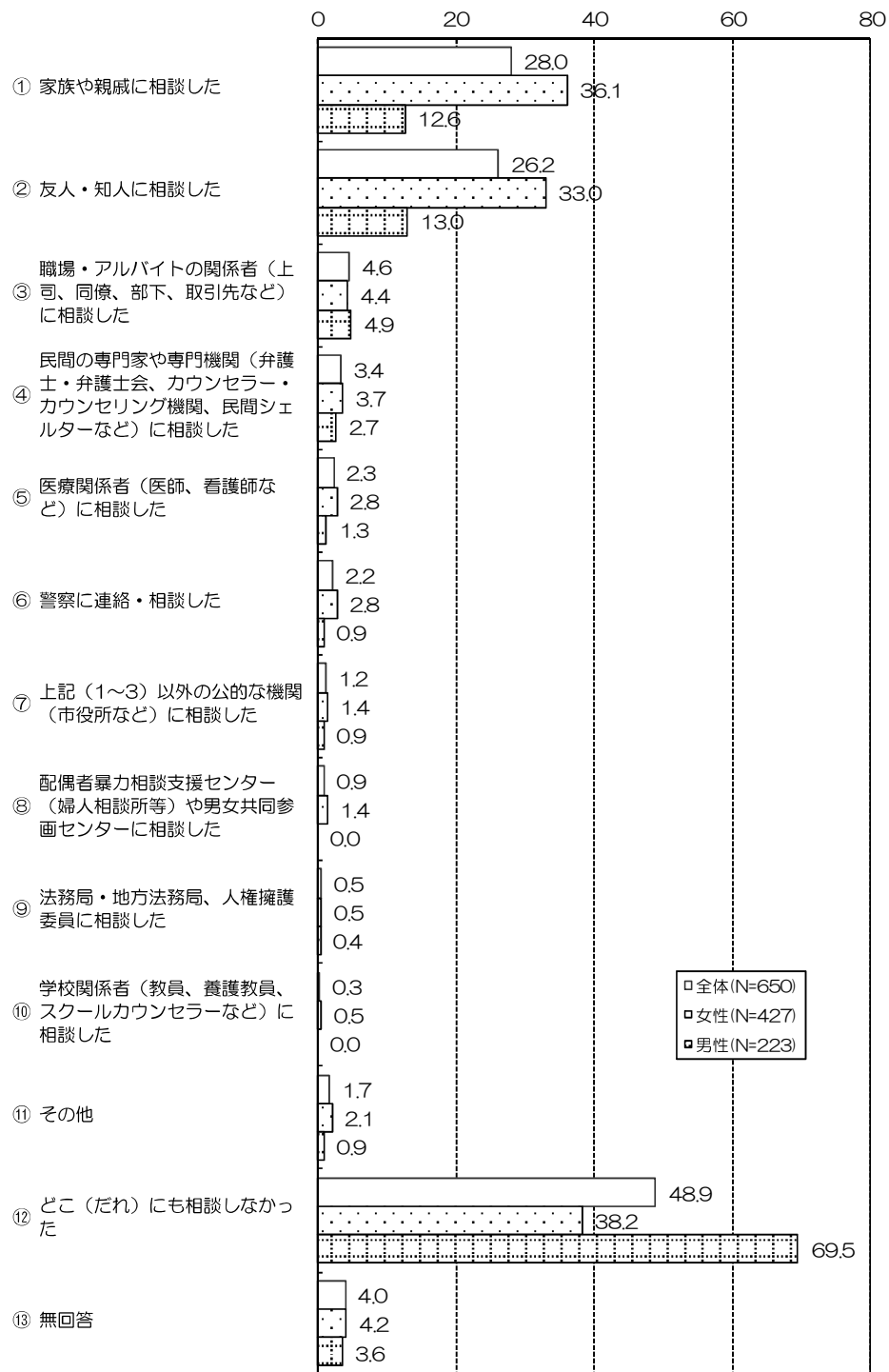
＜内閣府（平成 29 年度）調査結果 交際相手からの暴力（デートDV）＞

（単位：％）



<内閣府（平成 29 年度）調査結果 配偶者等からの暴力（DV）>

（単位：％）



【内閣府調査との比較】

内閣府（平成 29 年度）調査によると、デートDVでは「友人・知人に相談した」と「どこ（だれ）にも相談しなかった」が高くなっている。DVでは「どこ（だれ）にも相談しなかった」が高く、次いで「家族や親戚に相談した」、「友人・知人に相談した」となっている。

「どこ（だれ）にも相談しなかった」は特に男性で高く、デートDV、DVとも5割以上となっている。また、デートDV、DVとも相談機関への相談は少ない。（図表 7-6-2）

〔図表 7-6-3 ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害の相談先（性・年代別）〕

※性・年代別の考察はサンプル数が少ないため参考値とする。

< 交際相手からの暴力（デートDV） >

（単位：％）

		サンプル数	① （大阪府女性相談センターなどに相談した）	② 施設（男女共同参画センターなど）に相談した	③ 警察に連絡・相談した	④ 市町村など役所の相談窓口にご相談した	⑤ 法務局、人権擁護委員に相談した	⑥ 上記①～⑤以外の公的な機関に相談した	⑦ 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラーなどに相談した）	⑧ 医療関係者（医師、看護師など）に相談した	⑨ 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	⑩ 家族や親戚に相談した	⑪ 友人、知人に相談した	⑫ その他	⑬ どこ（だれ）にも相談しなかった	⑭ 無回答	
全 体		139	-	-	29	0.7	-	-	14	0.7	-	115	25.2	2.2	44.6	22.3	
性×年代別	女性	18～29歳	11	-	9.1	-	-	-	-	-	-	27.3	36.4	9.1	36.4	9.1	
		30歳代	26	-	3.8	-	-	-	-	-	-	23.1	42.3	-	42.3	15.4	
		40歳代	19	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	26.3	-	52.6	21.1	
		50歳代	12	-	-	-	-	-	8.3	-	-	16.7	25.0	-	50.0	16.7	
		60歳以上	14	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	14.3	-	42.9	35.7	
	男性	18～29歳	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	8.3	33.3	8.3	
		30歳代	10	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0	-	60.0	20.0	
		40歳代	13	-	-	7.7	-	-	-	7.7	-	-	-	7.7	61.5	23.1	
		50歳代	11	-	-	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-	18.2	-	36.4	27.3
		60歳以上	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0

※ は、属性中トップの項目

< 配偶者等からの暴力（DV） >

（単位：％）

		サンプル数	① （大阪府女性相談センターなどに相談した）	② 施設（男女共同参画センターなど）に相談した	③ 警察に連絡・相談した	④ 市町村など役所の相談窓口にご相談した	⑤ 法務局、人権擁護委員に相談した	⑥ 上記①～⑤以外の公的な機関に相談した	⑦ 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラーなどに相談した）	⑧ 医療関係者（医師、看護師など）に相談した	⑨ 学校関係者（教員、スクールカウンセラーなど）に相談した	⑩ 家族や親戚に相談した	⑪ 友人、知人に相談した	⑫ その他	⑬ どこ（だれ）にも相談しなかった	⑭ 無回答	
全 体		227	0.9	0.4	3.5	1.8	0.4	-	2.2	0.4	-	16.3	21.1	1.8	42.7	23.3	
性×年代別	女性	18～29歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		30歳代	22	-	4.5	-	-	-	-	-	-	27.3	54.5	4.5	18.2	13.6	
		40歳代	32	-	-	-	-	-	-	-	-	9.4	28.1	3.1	56.3	15.6	
		50歳代	29	-	-	6.9	3.4	-	-	3.4	-	41.4	34.5	-	27.6	13.8	
		60歳以上	55	1.8	1.8	3.6	1.8	1.8	-	3.6	1.8	-	21.8	14.5	1.8	40.0	27.3
	男性	18～29歳	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0
		30歳代	10	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	10.0	-	70.0	10.0
		40歳代	22	-	-	-	4.5	-	-	4.5	-	-	-	4.5	4.5	54.5	31.8
		50歳代	18	5.6	-	11.1	5.6	-	-	-	-	-	-	11.1	-	44.4	22.2
		60歳以上	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	10.3	-	51.7	37.9

※ は、属性中トップの項目

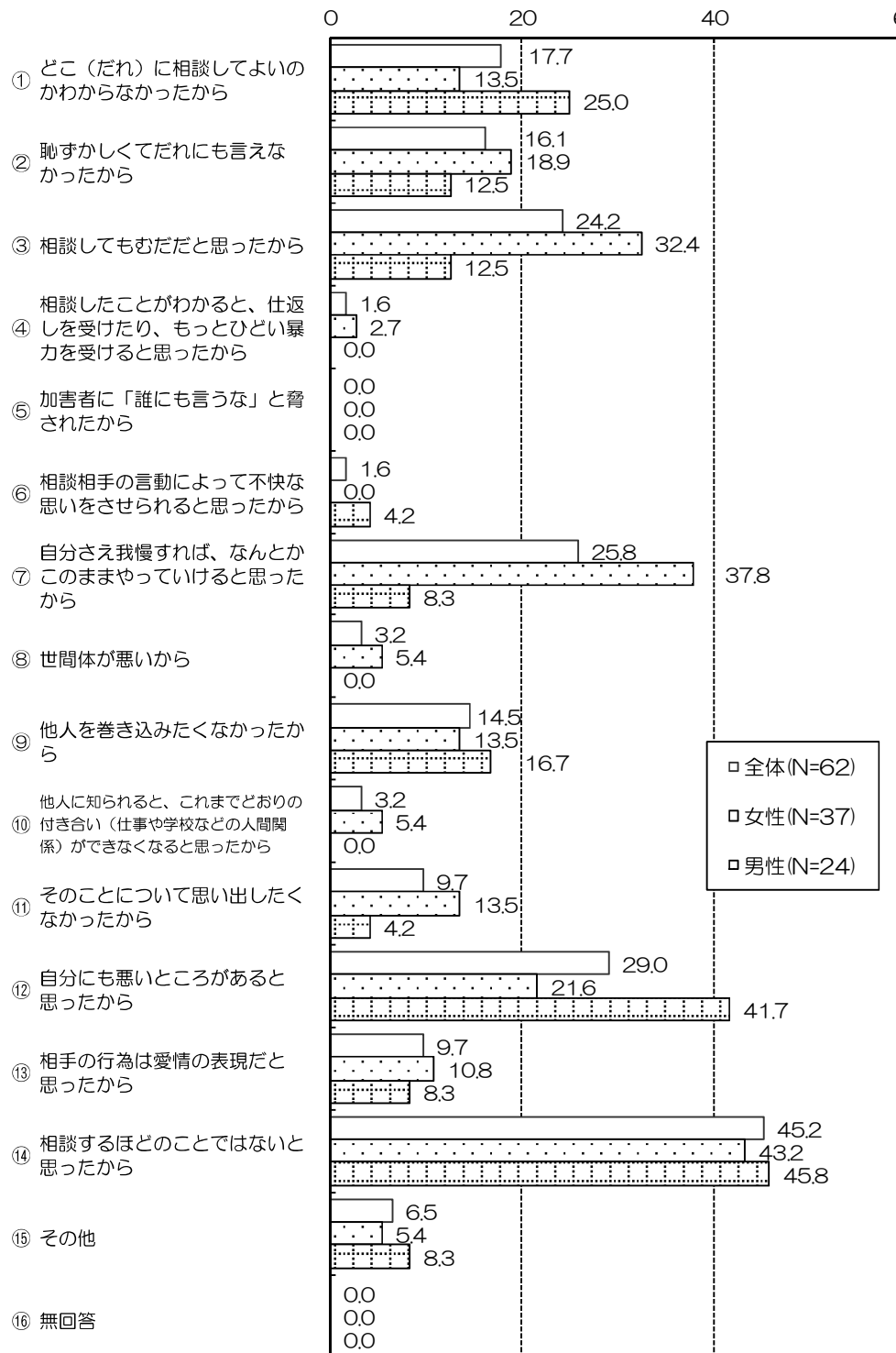
(8) ドメスティック・バイオレンス (DV) の被害を相談しなかった理由

問26. あなたが、被害をどこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

〔図表 7-7 ドメスティック・バイオレンス (DV) を相談しなかった理由 (性別)〕

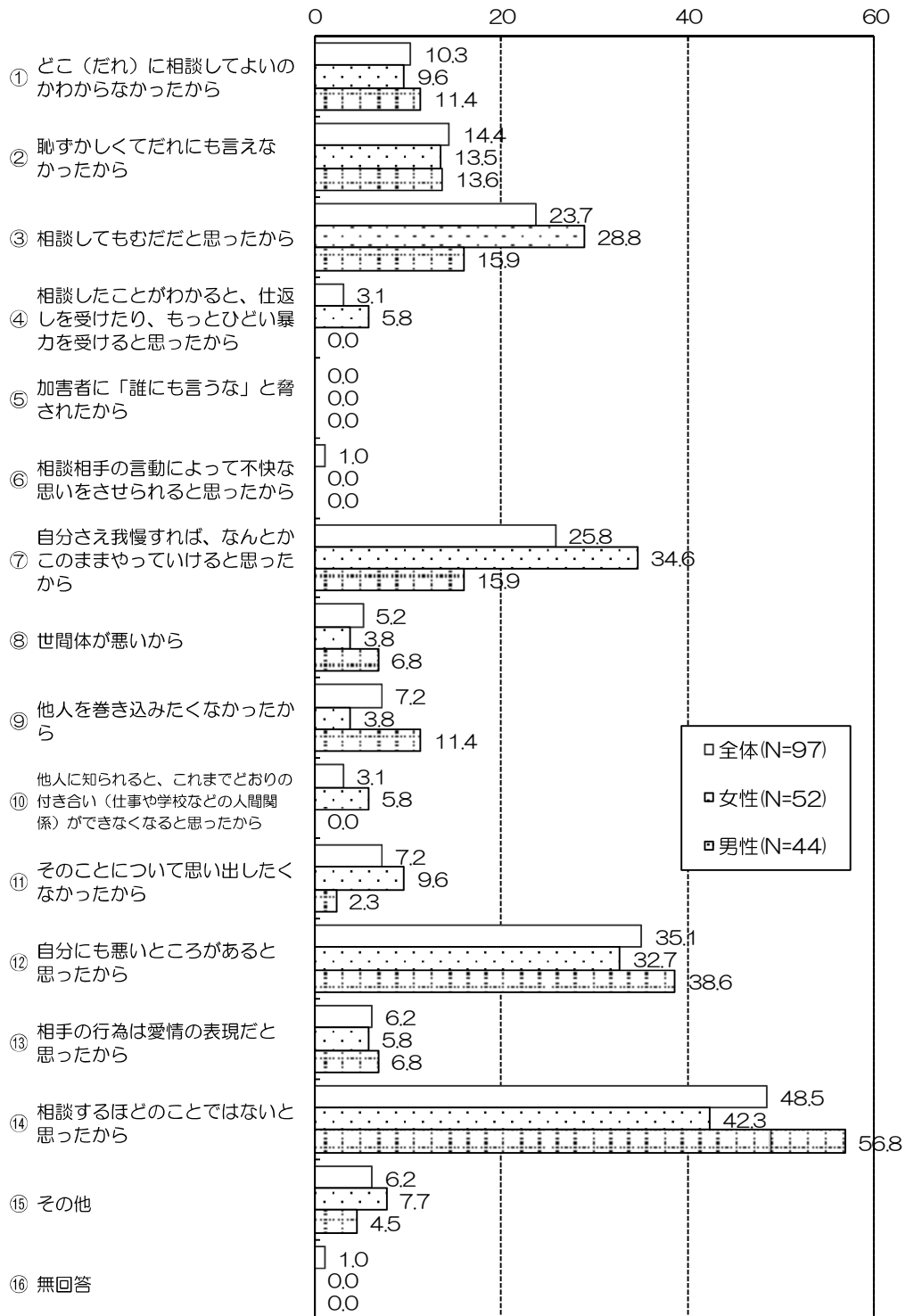
< 交際相手からの暴力 (デートDV) >

(単位: %)



<配偶者等からの暴力（DV）>

(単位：%)



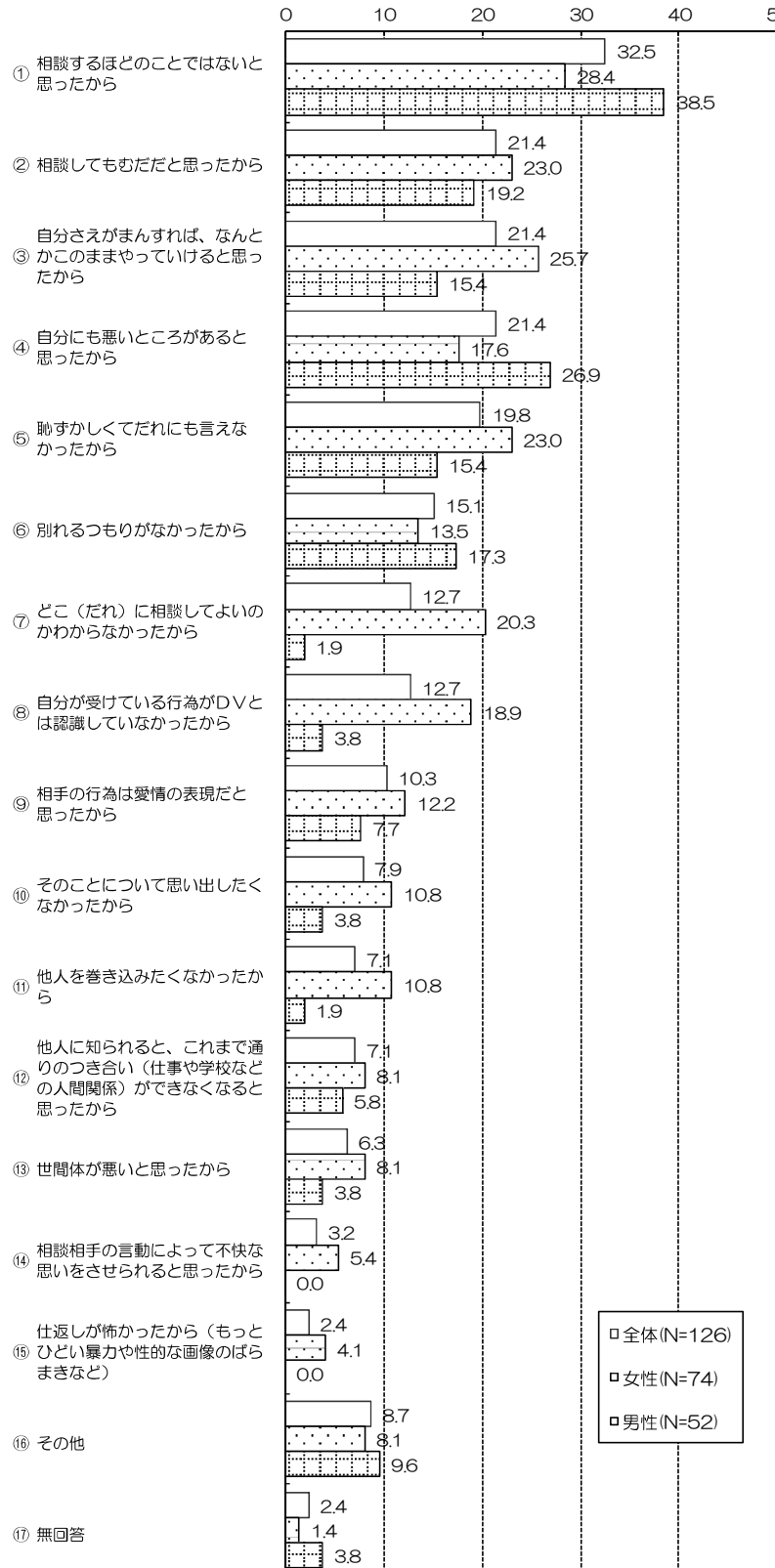
【半数近くが「相談するほどのことではない」と思っていた】

被害を相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」が男女とも最も高く、特に男性のDV被害者で56.8%となっている。次いで、デートDV、DVともに「自分にも悪いところがあると思ったから」が高くなっている。(図表7-7)

〔図表 7-7-1 ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害を相談しなかった理由
（内閣府調査との比較）〕

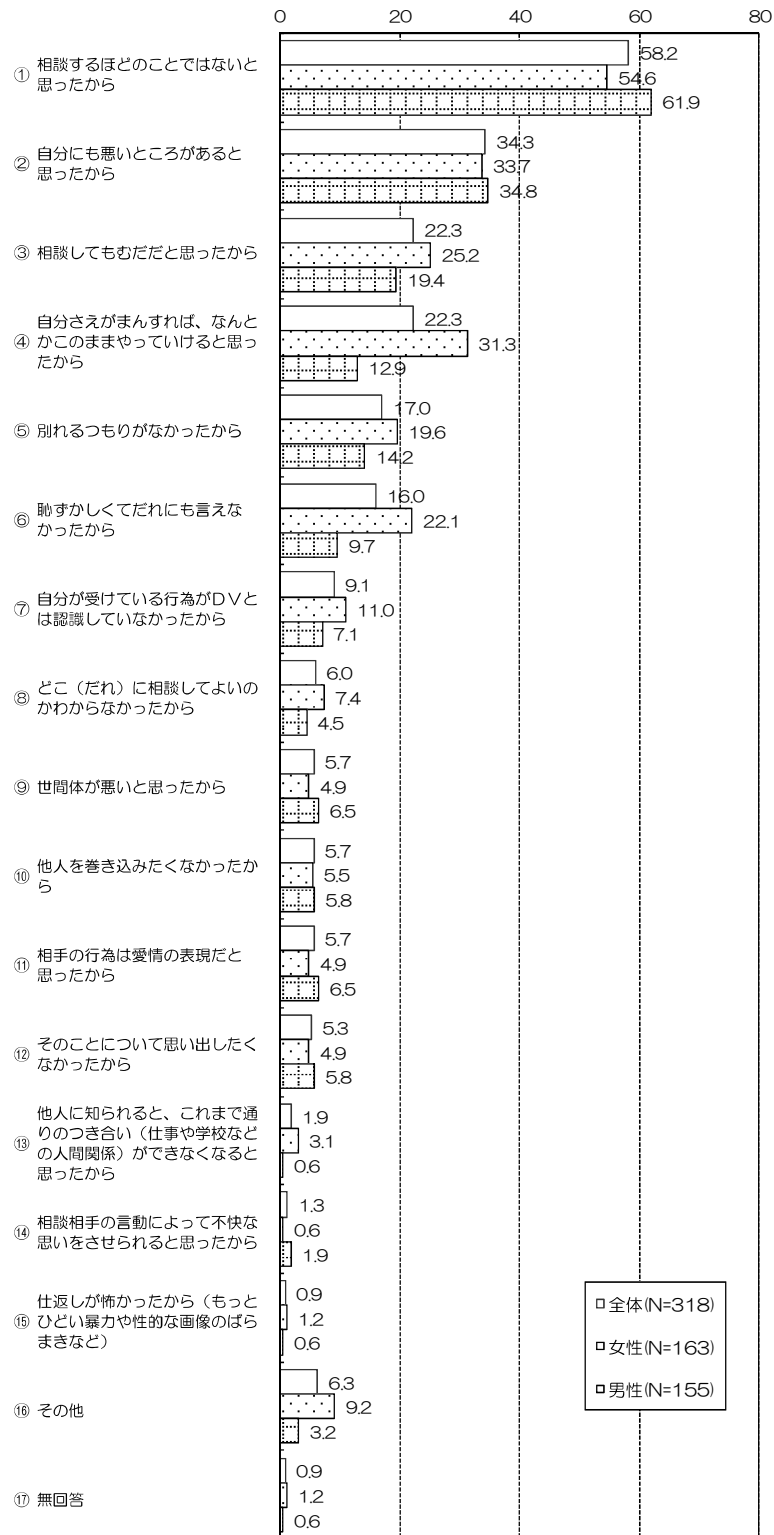
<内閣府（平成 29 年度）調査結果 交際相手からの暴力（デートDV）>

（単位：％）



<内閣府（平成 29 年度）調査結果 配偶者からの暴力（DV）>

（単位：％）



【内閣府調査との比較】

内閣府（平成 29 年度）調査をみると、デートDV、DVとも、「相談するほどのことではないと思ったから」が男女とも最も高くなっており、特に男性はデートDVで 38.5%、DVで 61.9%と高く、今回調査と同じ傾向となっている。（図表 7-7-1）